

令和4年3月14日
社会福祉法人陶技学園
理事長 前田重宏
陶技学園みずなみ荘
施設長 青山泰博

新型コロナウイルス感染症収束のお知らせ

平素より社会福祉法人陶技学園の運営にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。
ます。

この度、当法人が運営します陶技学園みずなみ荘におきまして新型コロナウイルスの集団感染により利用者・家族・関係機関・地域の皆様には多大なご心配とご迷惑をおかけいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。

県や東濃保健所等からの指導、支援を賜りながら全力を尽くして事態の収束に向けて取り組んでまいりました。その結果、最後の感染者が2月18日に確認されて以降、10日後の2月28日までに新たな感染者の確認はされていません。しかし、大きな集団感染であったため、感染管理認定看護師より3月13日までの様子観察期間を設けた方がよいとの助言をいただきました。

結果、その期間内に感染者は確認されなかったため、当施設内の新型コロナウイルス感染症の集団感染が収束できたものと判断し、段階的に通常運営に戻すことをここにお知らせいたします。

1月30日に最初の感染者が確認されてから、約1ヶ月の間に利用者様55名、職員20名の感染者を出してしまったことを重く受け止めています。今回の経験を生かし、今後は障がい者支援施設の感染管理体制や、職員の感染予防に対する研修をさらに図っていきたいと考えています。

最後になりますが、この度の集団感染発生に際し、当施設への励ましのお言葉やご支援を賜りました皆様へ心から感謝申し上げます。